

胃がん肥満症例に対するロボットと腹腔鏡手術の治療成績の比較

1. 研究の対象

2011年10月から2025年3月に施行したBMI \geq 25の胃がん手術286例（RG72、LG214）

2. 研究目的・方法

肥満は外科周術期合併症のリスク因子であり、胃がん手術においても配慮が必要である。本研究は、当院における胃がん肥満症例に対するロボット支援下胃切除（RG）と腹腔鏡下胃切除（LG）の治療成績を比較検討する。

単施設による後ろ向きコホート研究で、傾向スコアマッチングにより群間背景を調整し、RG群とLG群の患者背景、手術成績、術後合併症（Clavien-Dindo（CD） \geq Ⅱ）を比較する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、内視鏡画像、術後病理検査、採血検査、CT検査等

試料：なし

4. 試料・情報の公開

研究を終了したときは、個人情報が出ないように加工したうえで、当該研究の結果を論文、学会にて発表する。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

埼玉県立がんセンター消化器外科 川上 英之

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地 TEL：048-722-1111（代表）

研究責任者：

埼玉県立がんセンター消化器外科 江原 一尚

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地 TEL : 048-722-1111 (代表)

-----以上